

石川県重症心身障害児(者)を守る会
全国重症心身障害児(者)を守る会
石川県支部 会長 山本 衛

連日厳しい暑さが続いておりますが会員のみなさま方、お子さま方にはお変わりなくお過ごしでしょうか。酷暑の中お子様方の体調管理に心を砕いておられることとお察しします。

さて、去る7月2日に開かれた「石川県重症心身障害児(者)を守る会」の10周年大会は来賓の方をはじめ多数の方のご参加を頂き成功裏に終えることができ感謝いたしております。

今後も重症児(者)の幸せのために力を尽くして生きたいと気持ちを引き締めているところです。

「石川県重症心身障害児(者)を守る会」 結成10周年大会開催される！

7月2日(日)に石川県生涯学習センターにて「石川県重症心身障害児(者)を守る会」結成10周年大会が開催されました。大会には「守る会」本部より宇佐美事務局長、山田東海・北陸ブロック長、法邑富山県支部長が駆けつけてくださいました。また石川県からは木村健康福祉部長、各養護学校の校長先生、勝見医王病院院長浅岡石川病院指導主任など多数の来賓の方々のご臨席をいただきました。さらに記念講演には厚生労働省から杉江課長補佐を派遣していただきました。

大会は山本会長の「自立支援法で重症児(者)への対応がどのように動いていくか注目し、もっとも弱いものを守っていく必要がある」とのあいさつに始まり、宇佐美事務局長、木村石川県健康福祉部長より祝辞をいただきました。

その後、厚生労働省障害保健福祉部 精神・障害保健課及び障害福祉課課長補佐の杉江拓也氏より「障害者自立支援法について」のテーマで記念講演をしていただきました。杉江さんは厚生労働省で平成16年より障害者自立支援法の制度設計プロジェクトチームの一員として制度設計に関われ、18年4月からは課長補佐として制度の施行に従事されています。

講演ではたくさんのスライドを使って「障害者自立支援法」のねらいはあくまで障害のある方のサービスの充実、推進であることを踏まえて、ポイントをしばって話していただきました。また4月からの制度施行に伴い様々な問題がでていることも把握しておられ、参加者からの意見を聞く時間ももたれました。

講演会には会員、賛助会員をはじめ家族や事業所の職員や教師など80余名の方々が参加されました。

私たちはこの社会情勢の中で最も障害の重い子どもたちを守っていくために、行政の方々にも理解を得るような活動が今後とも大切になってくると思われます。

この時期だからこそ守る会の理念を再確認してみんなで協力し合いながら活動していきたいと思いますので会員、賛助会員の方々のご支援をお願いします。

北国新聞 7/3 付



結成10周年を祝う

重症障害児を守る会

県重症心身障害児(者)を守る会の十周年記念大会は二日、金沢市の県生涯学習センターで開かれ、会員ら六十九人が節目を祝つとともに、福祉政策の充実を目指すことを申し合わせた。

山本衛会長が「最も弱い者たちを変わらぬに守つていかねばならない」とあいさつし、来賓の宇佐美岩夫全国重症心身障害児(者)を守る会事務局長、木村博孝県健康福祉部長が祝辞を述べた。厚生労働省障害保健福祉部障害福祉課の杉江拓也課長補佐が記念講演し、障害者自立支援法への理解を求めた。

北陸中日新聞 7/3 付



県重症心身障害児を守る会10周年大会

県重症心身障害児(者)を守る会の十周年記念大会が二日、金沢市広坂の県生涯学習センターであり、山本衛会長は「重複障害児への行政

の対応は手薄になりがち。自立支援法でどう動くか注目していきたい」とあいさつした。

守る会は重症心身障害児の保護者らが一九九九年に結成。保護者が介護を休めるよう、子どもを一時的に預かる「レスパイト事業」などを実施し

二。現在の正会員は八十人、賛助会員は二十三人。

大会では全国重症心身障害児(者)を守る会の平佐美岩夫事務局長が「世の中の役に立たない子に金をかける必要があるのか、という風潮のため、かつては心中する親子が絶えなかった」と振り返り、「最も弱いものを一人ももれなく守るため、引き続き力を結集していこう」と呼びかけた。厚生省の杉江拓也・精神障害保健課課長補佐の記念講演もあった。問い合わせは山本会長宅へ電話0761(56)0610へ。

(伊藤弘喜)

訂正 10周年記念大会の冊子「石川守る会のあゆみ」

- ・ 昭和62年「石川県重症心身障害児の高等部をつくる親の会」結成は平成2年 の間違いでした。
- ・ 平成8年「石川県重症児(者)を守る会」結成の時の賛助会員は5名です。

次の方々よりご寄付がありました。ありがとうございました。有効に使わせていただきたいと思います。

松本康子さん、大野木春雄さん、山下辰美さん、板野かず子さん、山本久男さん、山田美智子さん、

ハートポップへ 和泉美智枝さん、越坂由紀子さん

尚 前号でお知らせしたご寄付いただいた星山敬春さんは星山敬俊さんの間違いでした。すみませんでした。

平成 18 年度「石川守る会」総会報告

10 周年大会に引き続き今年度の総会が開かれました。正会員 29 名、賛助会員 5 名の参加と提出された委任状 26 枚で規約に基づき総会は成立しました。

越坂事務局長より昨年度の活動報告がありました。昨年は国の福祉の方向が大きく変わろうとしていた時期でもあり、本部、ブロックなどで研修が計画され石川からも参加して勉強してきました。また金沢市でも「自立支援法を考えるフォーラム」が開かれ本会からも参加しました。

山本会長は石川病院、医王病院、七尾病院で「自立支援法および成年後見制度」についての講演も行い会員の方々に正しい情報提供をしました。

本部補助事業としてはじめて一泊を伴う療育キャンプを実施しました。12 組の親子のみなさん、8 名のスタッフ、19 名のボランティアの参加でカンポの郷尾口で楽しい 2 日間を過ごしました。

毎月 1 回継続して取り組んできたハートポップですが、最近は支援費などを使って外出する機会ももてるようになり、当初の障害の重い人たちが参加できる場を提供したいと言うニーズもかなえられる場が増えてきました。そのためハートポップの参加者も減ってきていて方向転換を考える時期ではと言う声もあり、今年は今までの利用者の皆さんからアンケートをとり、検討する年にしたいと考えています。

引き続き 18 年度の事業計画についての提案がありました。

今年は本部補助事業として保護者研修を予定していますので多数の方のご参加をお願いします。

また 6 月 17~18 日にすでに沖縄で開かれた全国大会には山本夫妻と川場夫妻の 4 人の方が参加されました。

11 月には北陸・東海ブロック大会が四日市市で開かれます。来年度は石川が当番になりますので、多数の方が参加されて様子を見てきていただきたいと思っています。

最後に規約の改正についての提案がありました。

第 9 条ならびに第 14 条の支部長の就任や会則の改正について「本部会長の承認を得なければならない」と言う点について意見が出され規約改正については廃案となりました。

10 周年大会に引き続いての総会でしたが皆さん真剣に議論され議案利審議は終了しました。今年度の取り組みは可決されましたので、今後役員会で検討して細かい計画を提案していきますので会員の皆さんのご協力をお願いしたいと思います。

第 18 回東海・北陸ブロック大会

日・時 平成 18 年 11 月 18 日(土)~19 日(日)

場 所 四日市市「四日市市総合会館」

内 容 1 日目 式典、基調講演、県別福祉施策発表、懇親会

2 日目 シンポジウム「障害者自立支援法を知るために」

参加費 3 千円

* H19 年度は石川の担当になりますので視察もかねて参加したいと考えています。



第43回重症心身障害児(者)を守る会の全国大会に参加して

このたび第43回重症心身障害児(者)を守る会の全国大会が沖縄県であり、私は、きょうだいの立場ですけれども、主人とともに参加させていただきました。

沖縄は、梅雨のため、大雨の被害にあっており天候が心配でしたが、幸いひどい雨にあう事もなく天気にもぐまれ、良かったです。

めったに行かれない沖縄での、観光を先に楽しみ大会に臨みました。大会は、宜野湾市にある「沖縄コンベンションセンター」と云う素晴らしい会場で900人ほどの参加者がありました。

シンポジウムでは、「両親の集い」5、6月号の資料に基づき、厚生省・文部科学省の担当課長・重症児に係わっている先生方の発表と詳しい説明があり、今日の現状をのべられました。

そのあと施設、医療、その他の関係者のみなさんによる質問、意見交換などがあり、みなさんの熱意が感じられました。

障害者自立支援法が始まり、「施設の利用・費用の負担・成年後見制度」など、福祉制度も今変わり目にあり、なんとなく心が不安な思いがしました。

妹のことは、両親亡き後、私が看てきましたが、これも、主人や家族の協力があつての事で、本当にありがたい事と思っています。

大会に参加して、重い障害児を支える者として、各地域の方々の思いを聞き、私も妹のために頑張っていきたいと思いました。

平成18年6月17、18日 大会出席

川場 あさ子

会員の現況
新入会員
正会員 西浦さん、

正会員 81名
賛助会員 23名

